

【実践報告】

教育実習Ⅱ（幼）の報告

広島文教大学教育学部

教育学科 准教授 田中 崇教

教授 杉山 浩之

1 はじめに

幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する学生（初等教育学科幼児教育コース2020年度3年次生61名）を対象とした「教育実習Ⅱ（以下、本科目と略記）」（3年次前期開講）は、本学科指定の幼稚園で実習を行い、幼稚園教諭に必要な実践力の涵養を目的とする。広島文教大学人間科学部初等教育学科「教育実習記録」は、教育実習の意義を次の5点に集約する。

①教育の理論と実践の一体化、②基本的教育技術の習得、③発達期にある幼児の理解、④教育的人間関係における相互作用についての学修、⑤教育者としての自覚高揚

2 実施のスケジュール

(1) 事前・事後学修

- 第1回 2019年11月30日（土）16：30－17：50
実習に関する基本理解、実習園の確認、課題の確認 他
 - 第2回 2020年1月10日（金）9：10－10：30
実習に関する基礎理解、実習に関する情報交換、課題提出 他
 - 第3回 2020年4月21日（火）16：30－17：50【非対面形式】
課題の確認、今後の予定（変更を含む）の確認 他
 - 第4回 2020年7月17日（金）16：30－17：50
実習園事前訪問の確認 事務手続きの確認 他
 - 第5回 2020年7月28日（火）15：50－17：50
実習園事前訪問
 - 第6回 2020年10月2日（金）9：10－10：40
実習に関する最終確認、事後課題の確認 他
 - 第7回 2020年12月10日（金）9：10－10：40
課題提出、実習を振り返るグループワーク 他
 - 第8回 2020年12月17日（金）9：10－10：40
実習の取り組みに関する総括 他
- その他、個別指導は適宜実施した

(2) 実習期間

学校法人龍花学園三入幼稚園（以下、三入幼稚園）、学校法人菜の花学園菜の花幼稚園、学校法人広島府中教会学園こばと幼稚園、学校法人武田学園広島文教大学附属幼稚園は、次のとおりである。

I期 2020年10月12日（月）－10月23日（金） 10日間

Ⅱ期 2020年11月2日（月）－11月16日（月） 10日間
学校法人広沢学園幼稚園は、次のとおりである。

I期 2020年10月19日（月）－10月30日（金） 10日間

Ⅱ期 2020年11月2日（月）－11月16日（月） 10日間

学校法人微妙学園みみょう幼稚園は、次のとおりである。

I期 2020年11月10日（火）－11月24日（火） 10日間

Ⅱ期 2020年11月25日（水）－12月8日（火） 10日間

3 実施概要

2020年4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出された後、同年4月16日には緊急事態措置を実施すべき区域は全国に拡大された。この措置に基づく学校の臨時休校等に従うと同時に、以降の新型コロナウイルス感染症対策（以下、感染症対策）を踏まえ、実習および事前学修・事後学修は、当初の計画から時期を変更のみならず再度の変更を余儀なくされた。緊迫した状況下、各実習園および関係各位に日程調整など多岐にわたってご理解とご協力頂いたことを今年度は特に記しておく。

2019年度に実施した2回の事前学修は予定通りの日程および内容で行うことができた。とりわけ今年度の実習より、学生数の増加に伴って新たに三入幼稚園が実習園になった。当該幼稚園には、教育実習Ⅲにて受け入れて頂いていた経緯がある。そのため、第二回事前学修で実施した「実習に関する情報交換」では、当該幼稚園で実習経験のある4年次生（2019年度）に協力を求め、実習予定学生らに情報提供・質疑応答を行った。

2020年4月以降、非対面形式（Microsoft Teams）を用いた事前学修を行った。当初の計画通りの実習が困難と判断し、各園と協議を重ねた結果、10月中旬以降順次実施できる体制を整え、受講学生らに実習延期に関する情報提供および支援を行った。2020年度前期は、ほとんどの授業科目で非対面形式が実施され、例年と異なる日常生活および新しい生活形式を強く意識することとなった。不安を覚える学生も少なくなく、丁寧な対応を心がけた。具体的には、「計画や予告連絡はいつもより長期的に設定すること」、「説明は、ゆっくりと明確にかつ端的に示すこと（スライド画面の使用）」、「対面形式の授業の際には、個々の学生に話しかけること・不安に耳を傾けること」であった。とはいえ、幼児の成長に携わる実習生としての服務事項や守秘義務、また実習生間の相互協力は、例年以上に重ねての指導を行った。なお、実習は再設定した予定通りにはほぼ行うことができた。学生らが検温等の体調管理、感染防止策の徹底などを個々で意識を高く持ち、適切に行ったがゆえの成果に他ならない。実習後に行った2回の事後学修は、いわゆる広島地域における新型コロナウイルス感染症再拡大状況に鑑み、実習の振り返りに関するグループワークと今後の実習（保育実習ⅡおよびⅢ、教育実習Ⅲ）を見据えた演習を行った。例年行ってきた実習報告会は、感染拡大防止の観点から先述の諸実習と併せて行うこととした。

4 成果と今後の課題

本年度は実習を行うことができたことが大きな成果といえる。各実習園、広島文教大学教職センター、同学生サポートセンター、幼児教育コース所属教員には重ねてになるが、お礼を申し上げる。他方で、慌ただしい状況下でありながら、またそうであったからこそ新たな指導スタイルの萌芽もみられた。これらを効果的に活用していくことを今後の課題としたい。